

## 04 株主の構成

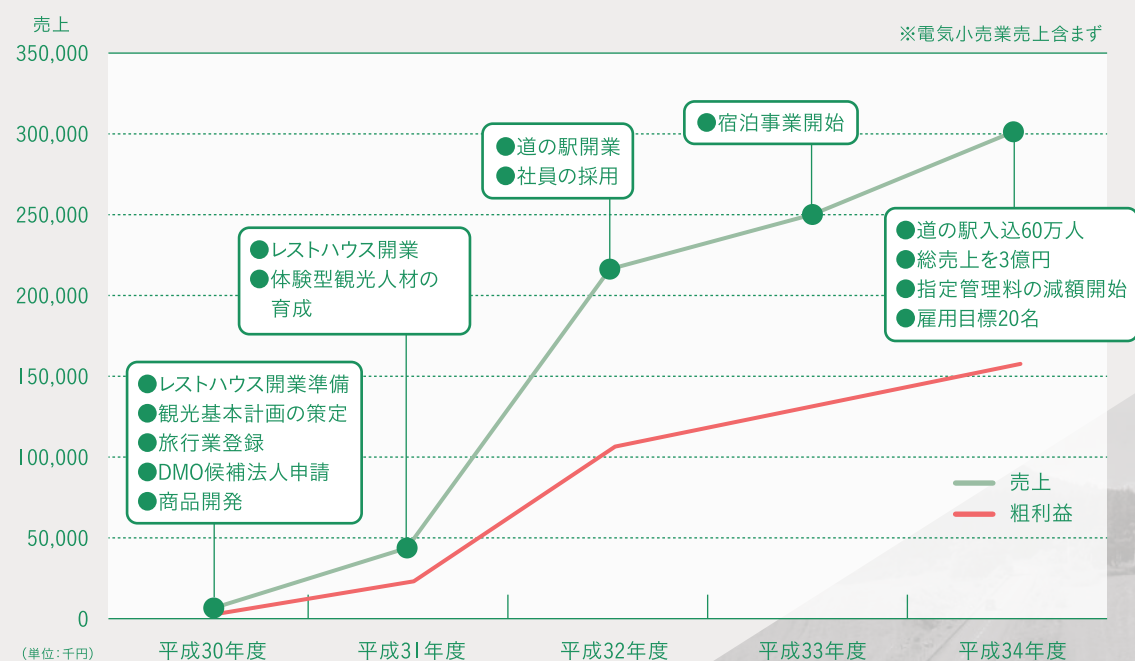
株式会社としての形態を選択し、上士幌町の出資割合を50%超として構成しました。設立時点では、町外の事業者からの出資同意を得てスタートさせるものの、本格的に事業を開始することを予定している平成32年度には、株式の第二次募集を行うこととしています。これは、設立目的が地域のビジネス創出であり、町内の出資者割合を高める必要があるためです。事業者や団体に加え、町民個人も対象にするなど、広く募集を図ることを今後、検討していきます。その増資が果たされた時点で、上士幌町の出資割合を下げることにし、関与率を軽減する計画としました。

| 出資者  | 出資額 (単位:千円) | 比率    |
|------|-------------|-------|
| 上士幌町 | 5,000       | 59.5% |
| A社   | 1,000       | 11.9% |
| B社   | 1,000       | 11.9% |
| C社   | 1,000       | 11.9% |
| D社   | 200         | 2.3%  |
| E社   | 200         | 2.3%  |
| 合計   | 8,400       | 100%  |

## 05 事業収支計画

### 株式会社karch 事業収支計画(5カ年)について

- 平成30年は5月に法人設立し、旅行業とDMO候補法人の登録をします。観光振興計画策定で中長期の計画を立てます。年間10アイテムを目標とした商品開発プロジェクトを進めます。ナイト高原牧場レストハウスの建設着工と同時に手順確認とサービス訓練を行います。電力の小売販売についても開始していきます。
- 平成31年はナイト高原牧場レストハウスを開業し、初年度年間7万人の入込を目指します。体験型観光商品の造成販売と人材育成を行います。
- 平成32年は道の駅が開業予定で、初年度48万人の来客を見込んでいます。社員の採用を予定します。宿泊事業の準備を始めます。
- 平成33年は宿泊事業が開始できるよう検討いたします。
- 平成34年は道の駅で集客60万人、総売り上げ3億円の達成を見込んでいます。アルバイトやパートを含め20名の雇用を目指します。指定管理料の減額開始を目指します。



住んで楽しい 訪れて楽しい

# 魅力ある 観光地域づくりを めざして

上士幌町観光ビジネス創出事業DMO\*構築業務報告書

ダイジェスト版





# 上士幌町観光ビジネス 創出事業DMO構築業務

観光ビジネス創出事業は、本町の観光資源や人を活用することでビジネスに反映させ、「観光地域づくり」を推進する組織を形成し、地域経済への貢献を図るものです。本業務では、日本版DMO、組織、運営体制の構築について検討してきました。

## 01 上士幌町の「稼ぐ力」

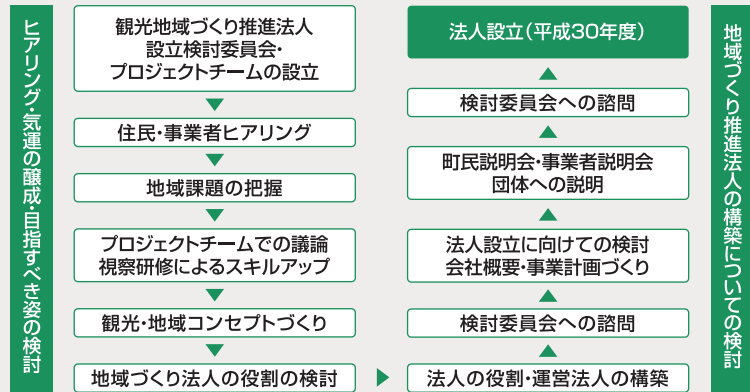
地域経済の活性化を進めるためには、地域内の様々な資源に付加価値を付けた商品を地域外に販売することや、観光推進による収入の拡大が重要です。増え続けるインバウンド（訪日観光客）の追い風が吹く中、新たな観光推進による対応が必要ですが、これにはマーケティングや販売促進に加え、「町全体を観光商品にする」「多くの町民や組織・団体が関わる」ことが大切です。これらの役割を担う組織がDMO法人であり、「観光による地域づくり」を推進します。

**DMOとは?** [ Destination Management Organization : デスティネーション・マネージメント・オーガニゼーション ]

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りを醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを実施する法人のことで、2020年までに世界水準のDMOを全国で100か所形成ことを目標に、民間の力を最大限活用した安定・継続的な「観光地域づくり」を進めることも定めています。行政や観光協会に頼り切っていた今までの観光振興を見直し、新たな手法と組織、DMOの形成と支援を推進中です。

## 02 地域づくりを推進する法人設立に向けた取り組み

法人設立に向けて取り組んだプロセス(工程)は、以下の通りです。



## 03 法人設立 株式会社 karch

新たな上士幌の稼ぎ出す仕組みを用いて、多くの町民や事業者の参加を得ながら観光地域づくりに取り組むDMO法人として、株式会社karch(カーチ)を5月下旬設立予定です。雇用の創出を図るために観光地経営の核となる組織として、また地域の課題やこれまで行き届かなかったサービスに着目する地域課題解決型商社として、上士幌の価値をきちんと伝える組織を目指します。



上士幌の人(町民)、素材、役割、ビジネスのかけ橋となる会社に。  
上士幌の価値(カーチ)を見いだす、伝える会社に。

## 株式会社karch事業内容

### プロモーション事業

本町の観光資源を活用し、メディア戦略、撮影協力、集客企画やイベントなどのプロモーションを行います。継続的に取り組むことで、集客を促し、常に上士幌町を広く発信していきます。

- 各種メディア対応 ●広報活動

### イベント開催

町の素材を活かし、町民が町の魅力を伝える場をつくります。

- 連携したイベント開催の検討
- 拠点施設でのイベント開催

### 連携事業

町、JA、商工会、観光協会等との多様な連携を企画し、イベントなどを行う事業です。それぞれの組織団体が連携することで効果が期待できる事業を立ち上げます。

- 町内各団体との連携
- 広域連携の検討

### 電力小売業

エネルギーの活用を行うため、会社の役割の一つとして電力小売事業について調査研究し、バイオガスプラントで発電された電力を販売、供給できるように進めます。事業実施により畜産バイオマスを核とした資源循環、エネルギー地産地消のまちづくりによる地域発展が期待されます。

- 循環型エネルギーの検討 ●電力小売販売検討

### 旅行業

農泊・民泊などの宿泊型体験商品を強化し、町全体を商品化するという目標を持ち、まちづくりの核になる事業に育てます。そのために旅行業登録をし、販路をつくります。

- 旅行業登録 ●旅行商品造成・販売

### 体験型観光

ガイドやコーディネーターなどの仕事を町民の方々に担っていただけるように育成にも取り組み、言語対応を含めた体験メニューの商品化を目指します。

- 体験型観光メニューの造成 ●人材育成

### 宿泊業

観光における収益の源泉は宿泊数と滞在時間にあり、町全体の観光振興策において不可欠な事業です。宿泊体験型の商品開発とともに、農泊・民泊の窓口として受け入れ態勢の整備やサービスレベルの向上を共に目指していきます。

- 宿泊施設の検討
- 農泊、民泊の受け入れ

### 商品開発

地域の食資源を中心に研究、企画を行います。マーケティングに基づいた商品化と、多様な販路に対応した販売力を構築します。

- 地域資源を活用した特産品開発・商品化の検討

### DMO・観光戦略

中長期的な町の観光の計画を立て、戦略をもって観光による町づくりに取り組みます。また、国が進める観光立国による地方の活性化を上士幌町でも推し進めるためにDMO法人への登録を目指します。

- 観光基本計画・戦略の策定支援 ●DMO候補法人登録

## 「観光」は「地域づくり」の決め手！地域みんなが関わる「観光地域づくり」を

地域づくりの決め手としての観光は「住んでよし」の地域住民が観光をつくりだし、観光客によって「訪れてよし」の結果を生み出します。この上士幌町を訪れていただく観光客によって、この上士幌町に住んでいることの喜びを感じることもあります。

上士幌町での暮らしや文化、自然、光景に人の姿や生き方を加えた情景を有料で体験していただき、宿泊や食事、買い物などによってその稼ぎを町内で循環させ、雇用も含めて町内に経済的効果を築いていきます。

また、リピート層を大切に上士幌町のファンになっていただき、ふるさと納税や特産品購入者、出資者へとなっていただくことも可能です。何よりも、現在上士幌町が取り組んでいる移住定住促進の事業においても、多くのきっかけづくりにもなり、相乗効果が期待できます。

さらに、町内の子どもからご年配者まであらゆる方々に参加いただくことによって、教育や生きがい、健康づくりなどにもなります。このような「観光地域づくり」を目指します。